

## 平成 24 (2012) 年度 「公害総論」

問 12 騒音・振動問題の苦情に関する記述として、誤っているものはどれか。ただし、平成 21 年度公害等調整委員会調べによる。

- (1) 騒音の発生源別の騒音苦情件数では、建築・土木工事が一番多い。
- (2) 騒音の発生源別の騒音苦情件数では、交通機関が二番目に多い。
- (3) 騒音・振動の苦情件数は、公害に関する苦情件数全体の約 2 割程度を占める。
- (4) 振動の発生源別の振動苦情件数では、建築・土木工事が一番多い。
- (5) 振動の発生源別の振動苦情件数では、交通機関が二番目に多い。

### (誤問の内容)

平成21年度公害等調整委員会調べによる騒音・振動問題の苦情件数に関する問題で、誤りの解を問うものであった。

選択肢(5)の「振動の発生源別の振動苦情件数では、交通機関が二番目に多い。」は正しい解として問題を作成したが、実際は、二番目に多いのは産業用機械作動(225 件)であり、交通機関は三番目(220 件)であった。結果として、本来の正解、選択肢(2)に加え選択肢(5)も誤りの記述となり、正解の選択肢が二つ存在することになった。

### (措置)

誤りの記述の選択肢を選ぶ問題だが、選択肢(2)及び(5)のどちらも誤りの記述のため、(2)及び(5)の解答を正解とする。